岡山市・岡山支援学校中学部２年

山田遥斗さん

岡山支援新聞

岡山支援新聞
地域活性化号
2025年(令和7年)
11月26日発行
岡山県立岡山支援学校中学部２年
山田遥斗

黄ニラを地域に

黄ニラ大使にインタビュー

私たちは総合的な学習の時間で「地域の食材を使って町を元気にするにはどうしたらいいか」をテーマに調べ学習を進めてきました。その中で、岡山県の特産品である黄ニラに注目しました。しかし、つい知っている人は多くなかったので、多くの人に知ってほしいと考え、学校にも協力を依頼し給食で提供したり、レシピで紹介したりすることを目指しました。

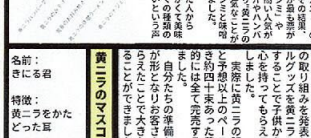
黄ニラを使ったインタビューの話を聞く様子

そのうえで、実際に栽培管理の先生にお願いし、黄ニラを使用した料理のアイデアや季節の野菜などを使った料理を提供するための工夫について話し合いました。

さらに、黄ニラ大使さんとも実際にお話をする機会があり、黄ニラの魅力を広めるためにいろいろどんな取り組みをしているのかも教えていただきました。黄ニラ大使さんは市場や飲食店の人に直接黄ニラの魅力を伝えに行ったり、生産者の思いなどをインターネットで紹介したりして、知ってもらうこと。を大事にしていると話していました。私たちもその話を聞いて情報を伝える工夫が地域の魅力づくりにつながるなと強く感じました。

黄ニラアンケート結果

給食で黄ニラを使った料理を出すために、私たち中学生を含む大人を対象にアンケートを行いました。アンケートではどの黄ニラ料理がいちばんおいしかったかを聞いてみたところ、「黄ニラのチジミ」が最も多く、次いで「黄ニラのお吸い物」も高い人気がありました。「黄ニラのラーメン」が最も多く、次いで「黄ニラのチジミ」や「黄ニラのお吸い物」も高い人気がありました。「黄ニラのラーメン」が最も多く、次いで「黄ニラのチジミ」や「黄ニラのお吸い物」も高い人気がありました。



実際に黄ニラ料理を食べた人からは、「チジミは黄ニラが柔らかくて風味がしいや、味噌ラーメンは多くの種類の食材が使われていて美味しいという声がたくさんありました。

見事黄ニラ完売！？

私たちは黄ニラのことについて調べていく中で「もっと多くの人に知ってもらいたい」という思いがさらに強くなりました。そこで黄ニラ大使さんに協力を依頼し、実際に黄ニラを譲り受け、その扱い方や保存方法についても教えていただきました。さらに、黄ニラをより身近な存在に感じてもらうために、私たちは黄ニラをモチーフとしたオリジナルキャラクターを考案しました。文化祭でこれまでの取り組みを発表し、オリジナルグッズを黄ニラとともに販売することで子供から大人まで関心を持ってもらえるように工夫しました。

実際に黄ニラの販売が始まる予想以上のペースで売れていき約四十束あった黄ニラは最終的には全て完売することができました。

自分たちの準備してきたことが形となりお客さんに喜んでもらえたことで大きな達成感を得ることができました。

黄ニラと商品の準備

黄ニラのマスコットキャラ

名前：
きにる君

特徴：
黄ニラをかたどった茸

好きな野菜：
黄ニラ

夢：
世界中の人に黄ニラを食べてもらうこと。

（C）山陽新聞社　無断複製・転載を禁じます。